

Istanbul Weekly vol.5-no.8

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年3月4日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：憲法裁のジウムフリエット幹部釈放決定に関する大統領発言。
エルドアン大統領、アフリカ各国を歴訪。
- 経済**：IMF、トルコの2016年の成長予測を上方修正。
2月の輸出、14ヵ月ぶり増加。
- 治安**：内務大臣「2ヵ月で18件のテロ計画を阻止」。
PKKが犯罪歴の無い戦闘員を全国に展開する戦略。
記者によるショッピングモール警備覆面調査結果。
- 軍事**：トルコ軍がISILを砲撃。
- 社会**：年間9000万人対応可能な第三空港は2018年2月にオープン予定。
ボスポラス第三大橋、残り9メートル。

政治

【内政】

●憲法裁のジウムフリエット紙幹部釈放決定に関する大統領発言

(1) MIT車両関連の報道を巡って拘束されていたジウムフリエット紙の幹部2名が憲法裁判所の決定で釈放された件に関し、エルドアン大統領は、本件はそもそも表現の自由とは無関係の刑事事案だとして「憲法裁の決定には従わない。(決定)を尊重することもしない。」と強く批判した。CHPなど野党側や弁護士連合会などは、大統領を含む全国民は憲法裁決定に従う義務があるとして同発言に一齐に反発。(2月29日付M紙1面)

(2) アルスラン憲法裁長官は、憲法裁の決定には誰もが従うべきと述べつつ、誰もが決定への批判は行い得るとも言及した。また、ダーヴトオール首相は、憲法裁は、本来の事案の判決前に当該幹部2名に関して、他の決定(釈放)が行われるべきではなかったなどと述べつつ、大統領に近い姿勢を示した。(3月2日付M紙1面、3月3日付H紙1面)

●国会憲法制定委員会に関する国会議長呼びかけと各党反応

先日議論が決裂し解散した国会憲法制定委員会に関連し、カフラマン議長は各党に再開を呼びかける書簡を发出。これに対しCHPは、実権型大統領制の扉を開くことには加担できないとして、委員会解散時の姿勢を保持し、呼びかけを拒否した。一方、ダーヴトオール首相は、CHPの立場を厳しく批判しつつ、各党は前提条件を置かず憲法議論を再開させるべきであるとの見解を示した。(3月3日付C紙5面)

【外交】

●エルドアン大統領、アフリカ各国を歴訪

(1) 2月28日からエルドアン大統領は、コートジボワール、ガーナ、ナイジェリア、ギニアを訪問。最初の訪問国であるコートジボワールで、エルドアン大統領は、ウワタラ大統領と会談した。また、両国間で、防衛、科学技術など9分野の協力に関する協定に署名が行われた。(3月1日付S紙20面)

(2) 1日、エルドアン大統領は2ヵ国目のガーナを訪問。マハマ大統領との共同記者会見で、「トルコは常にテロ問題に直面するガーナの側にある」と強調。また、「安保理はもはや少数の国の利益のために奉仕する機関に成り下がった」と国連安保理を強く批判した。(3月2日付H紙1面)

(3) 2日、エルドアン大統領は3ヵ国目のナイジェリアを訪問。ブハリ大統領との会談後の共同記者会見で、同国で先月に発生したテロ事件を非難しつつ、テロ対策における連帯を強調した。また、トルコの支援で建設された養護院のオープニング等が行われた。(3月3日付S紙26面)

●「北キプロス大統領」が、トルコを訪問

2日、カルヨンジュ「北キプロス・トルコ共和国大統領」がトルコを訪問し、ダーヴトオール首相と会談した。ダーヴトオール首相は、トルコから北キプロスに向けた「送水プロジェクト」を今後も戦略的に進めていくと述べるとともに、南北キプロスの和平交渉を引き続き支援していくと強調した。(3月3日付S紙27面)

経済

【マクロ経済】

●IMF、トルコの2016年の成長率を上方修正

24日、IMFは、2016年のトルコの経済成長率を0.3ポイント上方修正して3.2%、2017年は0.1ポイント引き下げて3.6%とした。(2月26日付HDN紙10面)

●1月の貿易赤字縮小

トルコの1月の貿易赤字は、前年同月比13.4%減少し、37億6000万ドル。輸出は同22%減の96億ドル、輸入は同19.7%減の134億ドル。原油価格下落が輸入減の要因であり、また、ユーロ安、地政学的リスクの拡大が輸出減につながった。国別の輸出額は、対ロシアが同66%減、対イラクが43.8%減、対EUが9.7%減。(3月1日付HDN紙10面)

●2月の輸出、14ヶ月ぶり増加

トルコの2月の輸出は、前年同月比3.1%増加して108億ドル。14か月ぶりの輸出増となった。部門別では、自動車の20億ドルが最大で、既製服(14億2000万ドル)、化学原料及び化学製品(11億4000万ドル)と続く。1-2月の輸出は、同16.9%減少して204億ドル、過去12か月間の輸出は同10.8%減少して1397億ドルであった。(3月2日付HDN紙10面)

【エネルギー関連】

●ガスプロム、天然ガス供給を10%カット

(1)露エネルギー大手ガスプロムは、2月10日からトルコに対する天然ガスの供給を10%カットしている。同社は、トルコの民間企業と2015年1月1日からのガス価格を10.25%割引することで合意・適用されていたが、突然、同割引を取り消した。トルコ側が割引なしでの取引を受け入れなかったため今回の供給量減少となった。(2月26日付HDN紙11面)

(2)25日、ガスプロムは、トルコ民間企業との交渉を継続しており、取引関係の維持を望んでいると発表。(2月26日付HDN紙インターネット版)

(3)トルコの民間業者によると、ガスプロムは、トルコの民間企業への天然ガス販売価格の事実上の値上げと供給量のカットを一方向的に決定し、公式な説明もなく、24日に供給量を減らした模様。(3月3日付HDN紙10面)

【観光関連】

●ロシアからの訪問客、激減

1月にトルコを訪問したロシア人は、前年同月比56.7%減少し2万2106人。昨年11月のロシア機撃墜以来減少し続けている。外国人訪問客全体は、同6.44%減の117万人。(3月1日付HDN紙1、10面)

【企業等の動き】

●オヤック・ルノーで労働者スト

(1)1日朝、ブルサのオヤック・ルノー社工場で10人の労働者が解雇されたのを受け、同社の労働者がストライキに突入。一部の労働者は工場の前に集まり、ブルサとムダンヤを結ぶ道路の閉鎖を試みた。警察が道路閉鎖阻止のため立ち入り、催涙ガスを使用、7人が拘束された。生産ラインは2月28日以降停止している。(3月2日付HDN紙10面)

(2)2日、オヤック・ルノーでのストが収束し、工場は通常業務に戻った。拘束された9名は同日遅くに釈放された。これとは別に、同日遅く、道路の閉鎖を試みた従業員のうち12人以上が解雇され、更に22名がソーシャル・メディアを通じて扇動したとされる2名と共に拘束された。(3月3日付HDN紙10面)

●ターキッシュ・エアラインズ、営業利益初の10億ドル超

1日、ターキッシュ・エアラインズは、昨年の営業利益が前年比65%増加し29億9000万リラ(10億1000万ドル)であったと発表。営業利益が10億ドルを超えたのは初。

売上高は19%増の287億5000万TL、乗客数は6120万人であった。(3月1日付AA紙インターネット版他)

【その他】

●ユルドゥズ・ホールディング会長、トルコ長者番付1位
29日、フォーブス誌は「トルコ長者番付上位100人」を発表。ユルドゥズ・ホールディングのウルケル会長が29億ドルで1位となった。2位はFIBAホールディングのオズイェイン会長(26億ドル)、3位はドウシュ・ホールディングのシャヘンク会長。今年の上位100人の合計資産額は前年比で57億ドル減少した。(3月1日付HDN紙10面)



(ウルケル会長。写真は3月1日付HDN紙インターネット版から)

●フィッチ、トルコの格付けをBBB-で維持

フィッチ社は26日、トルコの格付けをBBB- (投資適格)、格付け見通しを「安定的」で維持。2015年に実施した2回の選挙にも関わらず、財政規律を維持したことを受けての評価となった。他方、同社は、シリア問題へのトルコの関与等に言及しつつ、トルコの地政学的リスクは悪化していると指摘。また、2015年11月の再選挙が国内の政治不確実性を和らげたが、大統領の権力強化のための憲法改正の可能性が不確実性を長引かせるとの見方を示した。(2月29日付HDN紙11面)

治安

●内務大臣「2ヵ月で18件のテロ計画を阻止」

2月28日、アラ内務大臣は、テレビのインタビューに答え、イスタンブールのボアジチ大学で起爆装置を搭載した車が発見されたことに関連して「今年に入ってから、18件の同様な事案を阻止している。」「事前に阻止したテロ計画の大部分を発表することはできない」などと述べた。(2月29日付HD紙3面)



(アラ内務大臣。写真はアルチェトロンコムから)

●対PKKオペレーションで警察官死亡

2月28日、マルディン県ムサイビン市で対PKKオペレーションが行われた際、PKK戦闘員がロケットランチャーで警察の防弾車両を攻撃し、乗車していた警察官1名が死亡、2名が負傷した。(2月29日付HT紙14面)

●空港とバス停の警戒強化通達

内務省から全国の警察に対し、全国79都市の空港やバス

停に対するテロ警戒を強化するよう通達が出された。同通達では、民間警備会社との関係強化・指導強化も求められており、特に、公共機関や空港等を警備する民間警備会社に対する警察による査察が求められた。これを受けて、2月29日、アタテュルク空港では、9名の警察官が、空港の警備状況について査察を行った。(3月1日付HT紙11面)



(写真は3月1日付S紙インターネット版から)

●刑務所在監者数の発表

2月29日、法務省の発表によると、国内刑務所の在監者総数は、18万4494名であり、17万5445名が男性、6616名が女性。2433名が18歳未満の未成年。6592名がPKK関係者、366名がギュレン運動関係者、518名がISIL関係者であるという。法務省は、予算削減のため、刑務所の数を減らし続けているが、受刑者の過剰収容が問題となっている。(3月1日付HT紙16面)



(写真はHDN紙インターネット版から)

●PKKが犯罪歴の無い戦闘員を自爆テロ要員として全国に展開する戦略

情報機関からの情報によると、PKKが自爆テロの戦略を変更した。2月17日発生のアнкаラ車両自爆テロ事件の実行犯アブドルバキ・ソメルのように、過去に犯罪歴のない者120-150名を選抜し、全国の大都市に展開するという。(3月1日付M紙18面)

●ISILは爆発物原料等をトルコからも調達

ロンドンに所在する兵器研究所(CAR)は、ISILは、爆発物作成の原料となる多くの化学物質や肥料、電子部品やケーブルを世界中の51社からイラクの仲介業者等を通じて購入しており、そのうち13社がトルコに所在する。(3月1日付C紙15面)

●記者によるショッピングセンター潜入警備状況テスト結果

ハベルテュルク紙の記者が、イスタンブール市内の7つのショッピングモールにおいて、警備状況をテストするため、鞆に長さ27センチの刃物を入れて、入り口からの入構を試みた。結果、警備員により、刃物が発見され、質問されたのは、メジディエキョイとエティレルにあるショッピングセンターの2カ所のみであった。ジンジルリクウのショッピングセンターは、X線装置が設置されておらず、バクルキョイ、アヴジュラル、エユップ、ベイリクウデュズのショッピングセンターは、X線装置が使われたものの、

警備員に止められることなく、刃物が持ち込めた。(3月2日付HT紙12面)

●PKKが爆弾製造中に誤爆

3月1日、ディヤルバクル県イェニシェヒル市で爆発があり、1名死亡、子供4名が負傷した。警察は、PKK関係者が爆発物製造中に誤って爆発させたものとみている。(3月2日付HT紙12面)

●ISIL自爆テロ犯手配

情報筋によると、ISILの自爆テロ犯2名がトルコに潜入したが、カフラマンマラシュ県に入った後、行方が分からなくなっており、全国81県の警察に対して情報が共有された。(3月2日付HT紙13面)

●政府寄り新聞社襲撃事件関連オペレーション

2月11日、イスタンブールにおいて発生した、政府寄りメディアであるイェニ・シャファク紙とイェニ・アキツ紙本社に対する火炎瓶および銃撃による襲撃事件に関連して、3月1日早朝、イスタンブール市内の9区において、社会主義者民主主義党(SDP)のカドゥキョイ及びスルタンギーゾイの支部等20カ所に対するオペレーションが行われ、11名が拘束され、拳銃2丁、弾丸72発や関係書類、デジタル機器等が押収された。容疑者11名は、シリアに本部を置く「Turkey and Northern Kurdistan Liberation Organization(TKKKO)」の戦闘員で、TKKKOは、2014年10月に設立されたシリア所在のクルド組織「United Freedom Force」(BOG)の傘下に入り、トルコにおいて若年層のメンバーのリクルートを行っている。(3月2日付HT紙16面、3月2日付H紙インターネット版)

●大統領侮辱罪で1845名が起訴

ボズダー法務大臣によると、エルドアン大統領が就任した2014年8月から現在までに、1845名が大統領侮辱罪で起訴されたという。ジャーナリストやブロガー、高校生を含む一般市民までが、大統領侮辱罪で起訴されている。最近では、元国際的なサッカーのスター選手であったハカン・シュクル元国会議員が、自身のツイッターの投稿により、大統領侮辱罪で禁固4年を求刑されている。(3月3日付AFPニュース)

●米国がPYDの行動を注視していると声明

2日、米国のプリンケン國務副長官は、シリア危機におけるトルコの協力の重要性を述べた上で、北シリアのクルド勢力PYDに対して、「PKKを支持することや他のトルコの反政府勢力と関わることは、大きな問題を引き起こすものであり、我々はPYDが責任ある行動をし、ISILに対する戦いに集中するよう、注視している。」と発言した。(3月3日付C紙7面)

●昨年1月スルタンアフメット観光警察前自爆もISILの指示

昨年1月6日にイスタンブール市スルタンアフメット地区に所在する観光警察署前で発生した警察官1名が死亡した自爆テロ事件について、同事件の捜査を担当している検察官は、自爆テロ犯ダイアナ・ラマザノヴァ(ロシア国籍、18歳)は、ISILから指示を受けてテロを実行して死亡したと語った。

ラマザノヴァは、2014年6月17日にモスクワからトルコに来て、夫であるノルウェー国籍のアブ・アルエビスジとイスタンブールにしばらく滞在した後、シリアに渡り、ISILに参加、夫がシリアで死亡した後、ラマザノヴァは、トルコに不法に再入国し、自爆テロを計画・実施した。共犯者5名に禁固18年を求刑した起訴状によると、妊娠7カ月であったラマザノヴァは、スルタンアフメット地区を

歩き回った後、財布を無くしたふりをして観光警察に近づき、午後5時13分に手榴弾を爆発させた。ラマザノヴァの携帯電話の分析の結果、彼女がイスタンブールにあるシエア派のモスクについて調査していたことが判明した。(3月3日付M紙16面)



(ダイアナ・ラマザノヴァ。写真はメルマガインターネット版から)

●イスタンブールでDHKP/Cによる機動隊基地へのテロ

3月3日午前9時45分頃、イスタンブール市内バイラムパシャ地区に所在する機動隊基地前で、2名の女性テロリストが手榴弾と自動小銃を乱射し、同基地をテロ攻撃した。その後、犯人達は付近のビルに立てこもったが、午後12時半前に特殊部隊により射殺された。警察官2名が負傷した。犯人はいずれも極左団体DHKP/Cのメンバーで、DHKP/Cが犯行声明を発売した。(3月3日付AAインターネット版)



(写真はシャハバ・インターネット版から)

●イスタンブールで高速道路走行中の車両に対する銃撃相次ぐ

3月3日午後7時10分頃、イスタンブール市内第2高速道路(TEM)において、テキスティルケント地区を走行していたパトカーの先導付きの裁判所の通勤バスが何者かにより銃撃された。負傷者はいなかった。

また、同日夜、同テキスティルケント地区近くにおいて、ファーティヒスルタンメフメット大学の学長の車に対しても、何者かにより銃撃が行われたが、学長は乗車しておらず、けが人はいなかった。警察関係者は、同車両がフラッシュライトを点滅させながら走行していたため、警察車両と思われ銃撃された可能性があること、また、同日バイラムパシャでのDHKP/C女性メンバー2名の射殺に対する報復の可能性があると語った。(3月4日付HT紙14面)

軍事

●トルコ軍はYPGに対する砲撃を否定。

2月28日、ロシア軍と北シリアのクルド勢力PYDが、「2月27日、28日トルコ領内から、PYDが支配する北シリアのテル・アブヤドに対する砲撃が行われている」旨発表したことについて、トルコ軍参謀本部は、テル・アブヤドに対する砲撃を否定した。

テル・アブヤドに対しては、ISILが2月27日から攻撃を開始したが、米国の対ISIL空爆により撃退されている。(2月29日付HT紙12面)



(写真はHT紙インターネット版から)

●空軍が輸送ヘリを追加発注

トルコ空軍は、ボーイング社製CH-47-F輸送ヘリ6機を7月の納期で発注していたところ、そのうち5機が前倒しで納入された。同ヘリは5機さらに追加発注された。(3月1日付HT紙13面)

●トルコ軍がISILを砲撃

2月29日午後2時から午後3時頃、キリス県に配置されているトルコ軍が米国主導の有志連合軍の攻撃の一環として、ISIL支配地域に対して50から60発の砲撃を行った。

(2月29日付ドアン・ニュースエージインターネット版から)

●トルコ空軍が米国で訓練

米国で行われている「レッドフラッグ2016」訓練に参加するため、トルコ空軍のF16戦闘機6機と空中給油機2機が米国に渡り、「レッドフラッグ2016」訓練に参加した。(3月2日付HT紙13面)

社会

●年間9000万人対応可能な第三空港は2018年2月にオープン予定

イスタンブール第三空港の運営会社となるイスタンブール・グランド・エアポート(iGA)社のCEOユスフ氏は、第三空港の建設状況について、年間9000万人の乗客に対応できるターミナルと南北二本の滑走路が建設予定で、第一段階として2018年2月のオープンを目指していると述べた。第三空港は1日に3500便の離発着が可能で、10万人の雇用創出が期待されている。(2月26日付HT紙21面)

●200年前に遡ったイスタンブールがデジタルで展示

イスタンブール、ベシクタシュにあるイスタンブール海事博物館で、3月12日から22日まで「ピトレスク・イスタンブール(絵のように美しいイスタンブール)」展が開催される。展示会では、「デジタル旅行記」として19世紀の画家が描いたイスタンブールの絵画が巨大なカーテンに投写され、200年前に遡ったイスタンブールを体感できる。展示は英語とアラビア語でも説明されており、金曜日と土曜日の19:00から22:00の間はアンジェリカ・アクバルの生演奏も行われる。(2月26日付M紙11面)



(写真は2月26日付M紙インターネット版から)

●失われたヴォルドニシ島、ユネスコ申請へ

マルテペ区は、1010年の地震でイスタンブール沖に沈んだヴォルドニシ島に関して、イスタンブール大学等の専門家と調査団を結成し、島の全容を明らかにすべく調査を行う。大ヴォルド島と小ヴォルド島の二つの島から成り立つヴォルドニシ島は、イスタンブールの10番目、11番目の島とされ、その歴史は1200年前に遡る。マルテペ区は最終的に観光資源としてユネスコ世界遺産申請を目指す予定。(2月29日付HT紙24面)



(写真は2月29日付HT紙インターネット版から)

●今年の夏は猛暑の予想

イスタンブール工科大学気象学部のオルハン教授によると、今年の夏は例年に比べ12-13度気温が上昇し、80年ぶりの猛暑となる予想。特に、6月から8月にかけて最高気温は42-43度まで上昇し、体感温度は50度近くになる可能性があるとして述べた。(3月1日付H紙6面他)

●東地中海地方、過去900年間で最悪の干ばつ

米航空宇宙局(NASA)によると、トルコを含む東地中海地域で1998年以降断続的に続いている干ばつは、過去900年間で最悪であることが判明した。「自然発生的なパターンを超えた異常な干ばつであり、気候変動問題と少なからず関連する。」とNASA関係者は語る。NASAの公式サイトでは、地中海地方がグローバルな地球温暖化により、将来砂漠化が進む地域の一つであるとの悲観的な見方が強調されている。(3月3日付HDN紙2面)

●金角湾の浄化作業は20年間継続的に実施

イスタンブール市環境保全調整局によると、金角湾の浄化作業は20年間継続的に実施されており、毎年金角湾から5万立法メートルの泥が取り除かれている。金角湾の周辺沿いにあった工場や事務所に代わり、現在では公園やスポーツ広場が整備されており、家庭や工場の廃棄物に由来する汚染は激減した事が明らかになった。(3月2日付HT紙20面他)

●ボスポラス第三大橋、残り9メートル

2013年に建設が開始し、建設費30億ドルをかけた第三大橋プロジェクトで、2大陸間を繋ぐ橋の距離は、わずか9メートルを残すのみとなった。4日には59番目となる9メートルの橋桁が取り付けられる予定で、両大陸が繋がるのは第一大橋、第二大橋に続いて三度目となる。ユルドウルム運輸海事通信大臣によると、第三大橋は2016年7月から8月頃にかけて完成予定。(3月2日付HT紙20面)



(写真は3月2日付HT紙インターネット版から)

●花嫁はシリアから、花婿はドイツから

トルコ統計局は、2015年の結婚・離婚に関する統計を発表。結婚した夫婦の数は前年比0.5%増加の60万2982組、離婚した夫婦の数は前年比0.7%増加の13万1830組に達した。花嫁の内3.1%にあたる1万8814人が外国人花嫁で、その内19%がシリア人花嫁、外国人花婿は3566人の内38.4%がドイツ人花婿という結果になった。初婚の平均年齢は男性で27歳、女性で23.9歳となった。(3月3日付HT紙22面他)

2015年度外国人花嫁	数	割合
シリア人花嫁	3,569	19.0%
ドイツ人花嫁	2,695	14.3%
アゼルバイジャン人花嫁	1,653	8.8%
2015年度外国人花婿	数	割合
ドイツ人花婿	1,368	38.4%
オーストリア人花婿	282	7.9%
シリア人花婿	241	6.8%

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TIKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKI	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
IHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
IKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
ISO	イスタンブール産業会議所	TÜBITAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp
WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.3.3 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	1	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	0件	1件	0件	1件	1件	5件	0件	0件

●今週は、ぼったくりバーの被害が1件ありました。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 富士山からウル山へ～日本文化週間開催のお知らせ (3/4) **NEW**
- 治安速報：イスタンブール (03/03) **NEW**
- 【スポット】(更新)トルコ：アンカラ市内空軍司令部付近における爆発事案の発生に伴う注意喚起 (02/24) **NEW**
- 【スポット】イスタンブール市内でのテロの脅威に関する注意喚起 (02/24) **NEW**